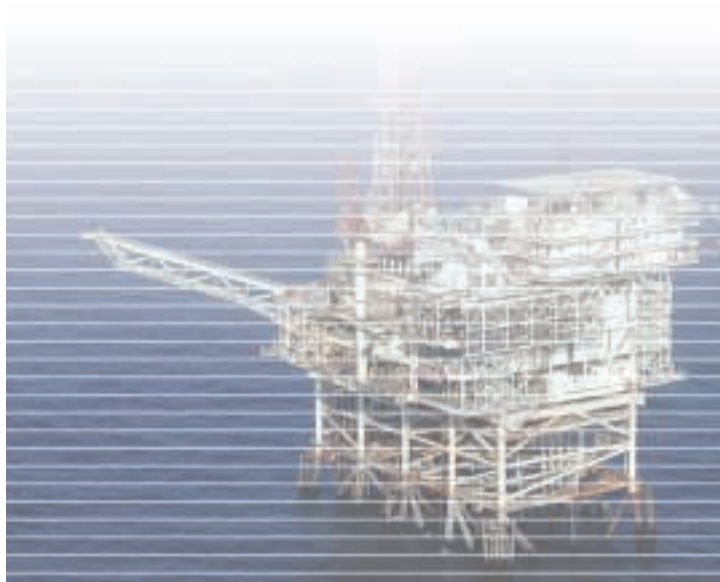




第3期 中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

AOCホールディングス株式会社



目 次	頁
● 株主の皆様へ	2
● 営業の概況	3
● 財務諸表	5
● トピックス	7
● 会社の概要	9
● 株式の状況	10

株主の皆様へ

株主の皆様には平素よりご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第3期中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループは、経営統合から約2年を経過いたしました。その成果を早期に実現すべく、この間、グループ全体を挙げて事業基盤の強化拡大、収益構造の改善に努めてまいりました。

当中間期は、原油価格の高騰および猛暑による石油製品の需要拡大、製品価格の高水準での推移により、増収・増益となりました。

また、石油上流部門において、エジプトでの経営管理・技術サービス契約の締結、中国南シナ海で生産中の関連会社の子会社化など経営資源の最適配分、経営の効率化に全力を注いだ結果、当社グループの中核を成す石油の上流事業と下流事業の将来の飛躍へ向けての基礎が固まりつつあります。

以上を踏まえ、当社はアラビア石油株式会社、富士石油株式会社より中間配当を受領することといたしました。この成果を期末に株主の皆様へ還元することができるよう、下半期においてもさらなる努力を傾注する所存であります。

当社グループは、経営資源の有効活用と積極的な事業展開を行い、ステークホルダー価値の最大化を目指して今後とも邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成16年12月

代表取締役社長

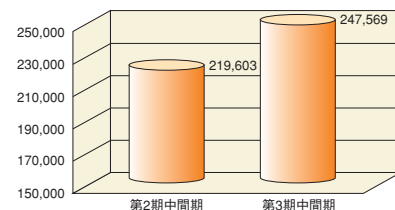
坂本吉弘

中間連結決算の概要

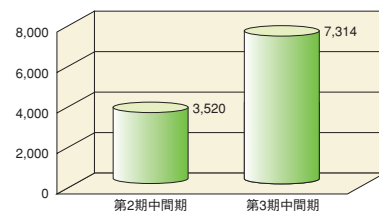
(単位：百万円)

売上高	247,569
経常利益	7,314
中間純利益	6,594
純資産	71,424
総資産	304,864

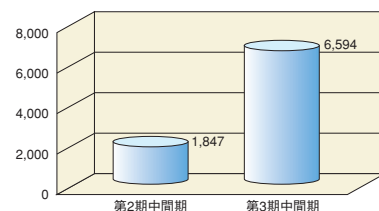
売上高



経常利益



中間純利益



営業の概況

■上流部門

●カフジ関連事業

アラビア石油株式会社が行うクウェイト・ガルフ・オイル・カンパニーとの技術サービス契約に基づく同社への技術・経営管理サービス提供業務につきましては、前期とほぼ同水準の人員をカフジ共同操業機構に派遣し、引き続き沖合分割地帯での石油・天然ガス操業に実質的な参画を果たしました。

また、アラビア石油株式会社はクウェイト石油公社との長期原油販売契約に基づき、約2.9百万キロリットの原油を購入し、日本および海外の顧客向けに販売いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は566億44百万円、営業利益は4億11百万円となりました。

●石油・天然ガスの開発・生産事業

アラビア石油株式会社の子会社AEDC (USA) INC.、Norske AEDC A/Sならびに石油公団保有株式を追加取得したことにより4月から子会社になった新華南石油開発株式会社は、石油・天然ガス価格が高水準で推移する中、各社ともに順調な操業を行った結果、当中間期において売上高26億10百万円、営業利益8億45百万円を計上いたしました。

なお、アラビア石油株式会社は、経営資源の最適配分を図り中東地域等の有望プロジェクトへ重点的に投資すべく、既存プロジェクトの見直しを行い、AEDC (USA) INC.が保有する米国メキシコ湾のガス田権益を10月に売却いたしました。

■下流部門

●石油精製・販売事業

富士石油株式会社およびPetro Progress Pte Ltd.等が行う石油精製・販売事業につきましては、原油処理装置等の安定運転により堅調な販売数量が確保できたこと、石化製品市況が好調に推移したこと、期首の原油・製品安値在庫の影響による売上原価の押し下げがあったことなどから、当中間期の売上高は1,883億13百万円、営業利益は57億61百万円となりました。

■連結業績

当中間期の連結業績は、売上高は2,475億69百万円、営業利益は70億54百万円、経常利益は73億14百万円、中間純利益は65億94百万円となりました。

なお、当社グループは平成17年度から適用を義務づけられている「固定資産の減損に係る会計基準」を当中間期より早期適用したことにより、当中間期において富士石油株式会社保有の遊休土地に係る減損損失91百万円を特別損失として計上いたしました。

■ 通期業績見通し

平成16年度下期は、原油を始めとする素材価格の高騰から米国、アジアが牽引してきた世界経済の成長に鈍化の懸念があり、国内経済もこれを受けて輸出、為替動向による景気への影響が懸念される等、依然として当社グループを取り巻く事業環境は不透明な状態が続くものと予想されます。

当社グループの下期の業績につきましては、下流部門における在庫評価の影響による売上原価押し下げの効果は漸減するものの、原油・石化製品価格は引き続き高値圏にとどまると見込まれることから、上流・下流ともに堅調に推移し、通期の連結業績は、売上高は4,500億円、経常利益は135億円、当期純利益は120億円を見込んでおります。

なお、以上の見通しから、当期末における連結欠損金の解消は確実であると見込まれることから、当社は下期にグループ中核事業会社であるアラビア石油株式会社および富士石油株式会社より中間配当を受領することとしております。当社といたしましては、株主の皆様のご支援に報いるため配当基本方針に鑑み、これを原資として当期末に一株当たり10円の配当を実施することを予定しております。

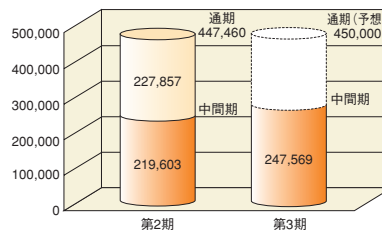
※これらの数値は、平成16年11月25日時点での関連情報に基づいておりますので、今後の状況により変動する可能性があります。

通期連結業績見通し

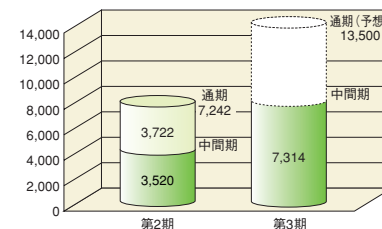
(単位：百万円)

売上高	450,000
経常利益	13,500
当期純利益	12,000

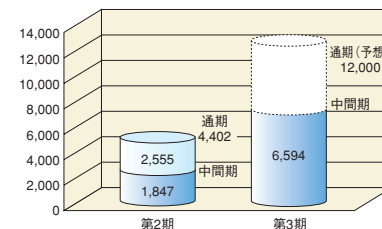
売上高



経常利益



当期純利益



財務諸表（連結）

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)
(資産の部)	(304,864)	(269,158)
流動資産	162,100	143,597
現金及び預金	19,257	27,645
受取手形及び売掛金	73,377	60,150
たな卸資産	50,505	45,057
その他	18,959	10,743
固定資産	142,731	125,515
有形固定資産	80,559	85,695
無形固定資産	1,334	535
投資その他の資産	60,837	39,284
繰延資産	32	45
(負債の部)	(232,426)	(214,316)
流動負債	145,048	143,291
買掛金	31,252	26,344
短期借入金	41,264	42,755
一年以内に返済する長期借入金	19,713	24,633
その他	52,818	49,558
固定負債	87,377	71,025
長期借入金	56,740	48,080
繰延税金負債	23,288	15,537
その他	7,348	7,407
(少数株主持分)	(1,013)	(118)
(資本の部)	(71,424)	(54,723)
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	45,728	45,728
利益剰余金	△ 2,089	△11,674
評価差額金等	11,303	4,186
自己株式	△ 3,518	△ 3,518
負債、少数株主持分及び資本合計	304,864	269,158

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
売上高	247,569	219,603
売上原価	238,184	212,937
売上総利益	9,384	6,665
販売費及び一般管理費	2,330	2,321
営業利益	7,054	4,343
営業外収益	1,817	889
営業外費用	1,556	1,712
経常利益	7,314	3,520
特別利益	1,949	—
特別損失	537	1,335
法人税、住民税及び事業税	1,825	752
法人税等調整額	256	△ 415
少数株主利益(控除)	50	0
中間純利益	6,594	1,847

中間連結剰余金計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	45,728	45,728
資本剰余金中間期末残高	45,728	45,728
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	△ 8,684	△13,521
利益剰余金増加/減少高	6,594	1,847
利益剰余金中間期末残高	△ 2,089	△11,674

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,037	5,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,464	△ 6,290
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,322	2,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	446	△ 987
現金及び現金同等物の増加/減少額	△ 3,733	594
現金及び現金同等物の期首残高	22,127	26,152
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,811	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,205	26,746

財務諸表（単体）

AOCホールディングス株式会社

中間貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)
(資産の部)	(52,207)	(49,931)
流動資産	2,314	219
現金及び預金	296	213
その他	2,018	6
固定資産	49,861	49,666
有形固定資産	128	24
無形固定資産	4	3
投資その他の資産	49,727	49,638
繰延資産	32	45
(負債の部)	(2,566)	(291)
流動負債	2,566	291
前受収益	430	228
その他	2,136	62
(資本の部)	(49,641)	(49,640)
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	29,638	29,638
利益剰余金	3	2
自己株式	△ 0	△ 0

アラビア石油株式会社

科目	当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)
(資産の部)	(75,409)	(56,896)
流動資産	40,316	33,383
現金及び預金	5,730	10,644
売掛金	22,583	19,061
その他	12,002	3,677
固定資産	35,093	23,512
有形固定資産	1	68
投資その他の資産	35,091	23,444
(負債の部)	(51,403)	(40,026)
流動負債	28,226	26,530
買掛金	10,629	8,390
一年以内に返済する長期借入金	2,655	3,697
その他	14,941	14,442
固定負債	23,177	13,496
長期借入金	23,177	13,496
(資本の部)	(24,006)	(16,870)
資本金	13,000	13,000
資本剰余金	4,739	4,739
利益剰余金	3,050	△ 672
評価差額金等	3,216	△ 196

富士石油株式会社

科目	当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)
(資産の部)	(261,662)	(237,861)
流動資産	122,332	106,470
現金及び預金	8,456	12,590
売掛金	57,661	44,643
たな卸資産	50,495	45,060
その他	5,719	4,175
固定資産	139,329	131,391
有形固定資産	109,276	111,368
無形固定資産	424	525
投資その他の資産	29,628	19,497
(負債の部)	(192,734)	(180,359)
流動負債	118,932	111,060
買掛金	20,892	12,845
短期借入金	39,627	42,745
一年以内に返済する長期借入金	17,057	20,935
その他	41,354	34,533
固定負債	73,801	69,299
長期借入金	33,563	34,584
その他	40,238	34,715
(資本の部)	(68,928)	(57,501)
資本金	10,225	10,225
利益剰余金	9,544	5,495
評価差額金等	49,159	41,781

中間損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
営業収益	487	382
営業費用	453	370
営業利益	34	11
営業外損益	△ 6	△ 5
経常利益	28	6
特別損益	△ 21	—
法人税等	5	5
中間純利益	1	1

科目	当中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
売上高	67,343	56,018
売上原価	66,264	54,779
販売費及び一般管理費	667	978
営業利益	411	259
営業外損益	641	△ 537
経常利益	1,053	△ 277
特別損益	△ 51	—
法人税等	△ 1,276	394
中間純利益	2,278	△ 672

科目	当中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
売上高	178,716	148,018
売上原価	171,568	143,677
販売費及び一般管理費	1,422	1,160
営業利益	5,725	3,179
営業外損益	△ 558	△ 440
経常利益	5,166	2,739
特別損益	123	△ 1,334
法人税等	2,031	△ 389
中間純利益	3,258	1,794

トピックス

■ 平成17～19年度 中期事業計画 ■

「グループの一元的運営を通じてグループ全体の最適化を追求し、ステークホルダー価値の最大化を図る」当社の経営基本方針に基づき、平成17～19年度を将来の飛躍への基礎固めの3ヵ年と位置づけ、「収益基盤の安定化」と「積極的な投資」を骨子とする平成17～19年度中期事業計画を以下のとおり策定いたしております。

事業環境

世界の石油需要増加、産油国の供給余力低下、不透明な中東情勢等により高騰した原油価格は、世界経済の成長鈍化、産油国の生産能力増強等を受けてドバイ原油で30ドル前半まで下げた水準で推移し、世界経済も米国、アジアを中心に安定成長に転じるものと見込む

事業計画

上流部門

- ・ カフジ共同操業への技術・経営管理サービス業務提供の継続、拡大
- ・ 経営資源有効活用のための既存プロジェクト見直し
- ・ 中東、北アフリカ、中央アジアをコア・エリアと定め、早期資金回収を期待しうるローリスクの新規プロジェクトへの積極的投資の展開

下流部門

- ・ 低コスト生産体制の維持、強化
- ・ アジア地域を中心に高付加価値製品の販売拡大
- ・ 製品の軽質化、高付加価値化に向けた設備増強

経営目標

積極的な投資展開

新規上流案件、精製設備増強に向けた約160億円の投資

上流部門	約120億円
下流部門	約40億円

収益基盤の安定化

平成19年度における経常利益100億円台の達成

平成15年度（実績）	72億円
平成19年度（計画）	98億円※

財務体質の改善

平成19年度末における自己資本比率25%超の達成、継続

平成15年度（実績）	23%
平成19年度（計画）	25%超

※新規上流案件投資からの期待収益は含まず

■ エジプトでの石油探鉱に参画 ■

アラビア石油株式会社は、エジプトにおいて石油探鉱権益を有するアレックスオイル社に対し、経営管理・技術サービスを提供することにより、同社が行う探鉱作業全般を担っていくこととなりました。

アレックスオイル社が権益を有するサウス・ゼイト・ベイ鉱区は、エジプト・スエズ湾南部の陸上・海上に跨っており、周辺地域において既に石油・天然ガスの生産が行われていることから、石油・天然ガスの発見の可能性は高いものと期待されております。

アラビア石油株式会社は、アレックスオイル社に経営管理・技術サービスを提供するために要員を派遣し、中東で40年以上に亘って培った豊富な経験とノウハウを活かし、地質構造調査、試掘井掘削などの探鉱作業全般を行ってまいります。

これを契機に、アラビア石油株式会社はエジプトにおける事業基盤の拡大に向け注力してまいります。



■ 環境に優しいサルファーフリーガソリンの生産開始へ ■

富士石油株式会社は、顧客の皆様からの要望にお応えするとともに、環境保全に向けて社会的責務を果たすため、環境にやさしい石油製品の生産に取り組んでおります。

軽油につきましては、既に平成15年1月から硫黄分50ppm以下の製品の出荷を行っておりますが、平成19年の規制実施に先駆けて来年1月から硫黄分10ppm以下のサルファーフリー軽油を出荷開始いたします。また、ガソリンにつきましても、本年内に脱硫装置を設置するなど対応をいち早く進め、平成20年の規制実施に先駆けて来年1月から硫黄分10ppm以下のサルファーフリーガソリンを出荷開始いたします。



会社の概要

(平成16年9月30日現在)

設立 平成15年1月31日
資本金 200億円
従業員数 37名
本店 東京都品川区東品川二丁目5番8号
役員

代表取締役社長	坂本吉弘
代表取締役副社長	関屋文雄
取締役専務執行役員	小野正人
取締役常務執行役員	浅野淳一郎
取締役常務執行役員	広木利之
取締役	田村滋美
取締役	盛俊夫
取締役	関川吉明
取締役	イーサ・オウン
取締役	ウサーマ・トラールシ
常勤監査役	島靖文
監査役	伊藤侑徳
監査役	梶田邦孝
監査役	中山祐伸
執行役員	立石俊郎

監査法人 あずさ監査法人

連結対象会社

連結子会社

■カフジ関連事業

アラビア石油株式会社
Arabian Oil Company(Cayman) Ltd.

■石油・天然ガスの開発・生産事業

AEDC(USA) INC.
Norske AEDC A/S
新華南石油開発株式会社

■石油精製・販売事業

富士石油株式会社
株式会社ペトロプロGRESS
Petro Progress Pte Ltd.
富士石油販売株式会社
富士臨海株式会社
富士タンカー株式会社

持分法適用会社

■その他事業

日本オイルエンジニアリング株式会社
東京石油興業株式会社
Aramo Shipping (Singapore) Pte Ltd.

株式の状況 (平成16年9月30日現在)

株式の状況

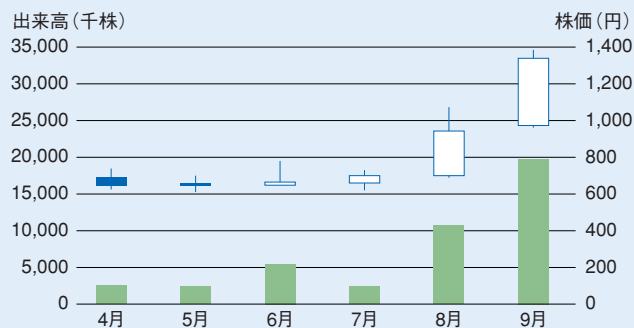
会社が発行する株式の総数	200,000,000株
発行済株式総数	73,587,377株
株主数	16,758名

大株主

(単位：千株)

東京電力株式会社	6,839.9	9.3%
クウェイト石油公社	5,811.3	7.9%
サウジアラビア王国政府	5,811.3	7.9%
株式会社ジャパンエナジー	5,112.5	6.9%
アラビア石油株式会社	4,057.7	5.5%
住友化学工業株式会社	2,994.0	4.1%
日本輸出入石油株式会社	2,252.3	3.1%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,188.1	3.0%
関西電力株式会社	1,900.0	2.6%
日本生命保険相互会社	1,279.7	1.7%

平成16年度中間期 株価および出来高の推移



株主メモ

- 決算期日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 利益配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
電話：03-5213-5213（代表）
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社本店および全国各支店
- 公告掲載新聞 日本経済新聞

ご案内

当社は、定款紙による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (<http://www.aochd.co.jp/ir/kessan.html>) に掲載しております。

AOCホールディングス株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL 03-5463-5061 FAX 03-5463-5043
ホームページアドレス <http://www.aochd.co.jp>

